

格附表ハ之レヲ變更スルコトヲ得其變更シタルモノハ未タ開市セサル期月ノ賣買ヨリ之レヲ用ユ

第十一章 公定相場

第二百二條 公定相場ハ理事長理事ニ於テ左ノ方法ニヨリ之レヲ定メ市場ニ揭示ス
直取引ハ銘柄延取引ハ銘柄及期限ニヨリ之レヲ區別シ一日間ノ賣買中適當ノ價格ト認ムルモノニ付其賣買總石數ヲ以テ其總代價ヲ除シタルモノトス
定期取引ハ毎日日本場後場共各限月毎ニ區別シ其一場毎ノ賣買中適當ノ價格ト認ムルモノニ付其賣買總石數ヲ以テ其總代價ヲ除シタルモノトス

第十二章 倉庫

第二百三條 當取引所ハ倉庫ヲ設置シ取引所ノ營業部類ニ屬スル商品ニ限り之レヲ保管シ貨主ノ請ヒニ從ヒ預リ證券及ヒ質入證券ヲ發行スヘシ
第二百四條 取引所ハ理事會ノ議決ヲ以テ豫メ他ノ倉庫主ト特別ノ契約ヲナシ賣買貨物受渡ノ便宜トナスコトアルヘシ
此ノ場合ニ於テハ契約書案ヲ添へ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第二百五條 取引所倉庫ノ保管貨物ニシテ天災地變其他避クヘカラサル災厄ニ罹ルカ又ハ鼠喰虫喰或ハ物品ヨリ生スル變質減量等ノ損害ハ取引所其責ニ任セス

第十三章 帳簿

第二百六條 取引所ニ於テ使用スヘキ諸帳簿ハ理事會ニ於テ定メタル名目用法ニヨリ之レヲ整理ス
第二百七條 會員及仲買人ノ業務上使用スヘキ諸帳簿ノ種類記載事項及様式ハ理事會ニ於テ之レヲ定メ農商務大臣ニ届出ツヘシ
會員及仲買人ハ前項ノ帳簿ニヨリ其業務ヲ行フコトヲ要ス
第二百八條 會員及仲買人業務上使用スヘキ諸帳簿ハ其紙數ヲ附記シ取引所ノ檢印ヲ受クヘシ
第二百九條 會員及仲買人取引所ヨリ帳簿其他營業上ニ關スル書類檢閱ノ要求ヲ受ケタルトキハ何時ニテモ之レヲ提出シ其尋問ニ答フヘシ此ノ場合ニ於テ取引所ハ特ニ組長ヲシテ立會セシムルコトアルヘシ
第二百十條 取引所ノ諸記録ハ目次編纂シ理事會ニ於テ定メタル方法ニヨリ之レヲ保存ス

第十四章 出納

第十一條 毎年一月ヨリ六月ニ至ルマテ及七月ヨリ十二月ニ至ルマテヲ以テ一計算季トシ一月七月ノ總會ニ於テ前季間ノ決算ヲ議決ス
第一百十二條 毎決算季ニ於テ其總收入金ノ二十分ノ一ニ相當スル金額ヲ準備積立金トス

仲裁

準備積立金ハ總會ノ決議ヲ經農商務大臣ノ認可ヲ得ルニアラサレハ之レヲ支出スルコトヲ得ス

第百十三條 毎季ノ總收入金ヲ以テ前條ノ積立金税金及諸經費役員事務員ノ賞與金ヲ扣除シ尙殘餘ヲ生スルトキハ別途積立金又ハ後季繰越金トナスヘシ

第百十四條 總收入金ヲ以テ準備積立金ヲ扣除シタル殘額ニシテ税金及諸經費ヲ支出スルニ足ラサルトキハ先ツ別途積立金ヲ以テ支辨シ然ル後準備積立金資本金ニ及ホスモノトス

第百十五條 資本金ニ缺額ヲ生シタルトキハ直ニ臨時會員總會ヲ開キ其事實ヲ報告シテ處分法ヲ議定ス

第百十六條 金錢及有價證券ノ保管方法ハ總會ノ決議ヲ經農商務大臣ノ認可ヲ受ケ之レヲ定ム

第十五章 仲裁

第百十七條 取引所ニ仲裁委員ヲ常置シ會員仲買人間會員又ハ仲買人相互間仲買人注文人間ニ起リタル紛議ニツキ双方ノモノヨリ請求アリタルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ之レヲ裁斷セシム

第百十八條 仲裁委員ハ七名ヲ以テ組織ス内三名ハ役員互選ヲ以テ之レニ任シ四名ハ會員仲買人互選ヲ以テ之レニ任ス

第百十九條 委員長ハ役員委員中ヨリ互選ヲ以テ之レヲ定ム委員長差支アルトキハ餘ノ役員委員之レヲ代理ス

第百二十條 仲裁委員ノ任期ハ二ケ年トシ隔年一月之レヲ改選ス
但シ再選スルコトヲ得

第百二十一條 仲裁委員ハ任期滿ツルト雖審理中ノ事件結了スルニ至ルマテ其職務ヲ行フノ責アリ

第百二十二條 仲裁委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ第百十八條ノ手續ニ從ヒ之レヲ補充ス
第百二十三條 仲裁ヲ請求スル者アルトキハ委員長之ヲ受理シ委員中ヨリ二名以上ノ係員ヲ選任シ其事件ヲ取扱ハシム

第十六章 違約處分

第百二十四條 會員又ハ仲買人其遵守スヘキ規則命令ニ違背シタルトキ又ハ不穩當ノ賣買ヲナシ若クハ一般會員又ハ仲買人ノ營業ヲ妨害シタルトキ其他不正不實ノ行爲アルトキハ情狀ニ應シ理事會ノ議決ヲ以テ左ノ制裁ノ一以上ヲ加フ

一 業營停止 期限ヲ定メ又ハ之レヲ定メヌシテ新規賣買ヲ停止シ停止中看板ヲ掲クルコトヲ許サス

一 除名 會員又ハ仲買人ノ名籍ヲ削リ免許狀及看板徽章鑑札ヲ返納セシム

此場合ニ於テハ其賣買米ハ營業細則ノ規定ニ從テ處理ス

一 過怠金 金五百圓以内ヲ徵收ス七日内ニ之レヲ納メサルトキハ除名處分ノ上身元保

違約處分

營業細則 解散

證金ヲ以テ充當ス

營業ヲ停止シ又ハ過怠金ヲ課シタルトキハ速ニ農商務大臣ニ申告シ除名ハ豫メ農商務大臣ノ認可ヲ得テ之レヲ行フ

第二百五條 前條ノ處分ハ宣告文ヲ市場ニ揭示スルニ因テ之レヲ行フ其宣告文ニハ理由ヲ明示ス

前項ノ揭示ハ營業停止中過怠金及除名ハ三日間之レヲ行フ

第二十六條 會員又ハ仲買人不穩當ノ賣買ヲナシ又ハ一般會員仲買人ノ營業ヲ妨害シタルトキ其他不正不實ノ行為アリト認ムルトキハ事跡判明セサルトキト雖理事會ノ議決ヲ以テ一時其者ノ新規賣買ヲ停止シ取調ヲナスコトヲ得
前項ノ處分ハ停止中之レヲ市場ニ揭示ス

第十七章 營業細則

第二十七條 此ノ定款ニ規定セルモノ、外市場ノ開閉賣買證據金受渡審査格附違約處分倉庫等ニ關スル節目其他必要ノ事項ハ營業細則ヲ以テ之レヲ定ム

營業細則ハ理事會ノ議決ヲ以テ之レヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ得テ之レヲ施行ス

第十八章 解散

第二十八條 會員總會ニ於テ取引所ノ解散ヲ議決シタルトキハ會員總會ノ選舉ヲ以テ二名以上ノ清算人ヲ定メ一切ノ事務ヲ處辨セシム

組會員 高田米穀取引所營業細則

第一章 市場開閉ノ時間

第一條 當取引所ノ市場ハ休業日ヲ除クノ外毎日左ノ時間ニ於テ開閉ス

直取引及延取引

自午前九時
至午後三時

定期取引

本場 午前自八時
至十二時
後場 午後自六時
至一時

第二條 定期取引ノ本場後場ヲ分ツコト左ノ如シ

本場

第一節 寄附

第二節 鱗

第三節 引方

第四節 中引

第五節 大引

第六節 留方

市場開閉ノ時間

後 場

- 第一節 寄附
- 第二節 引方
- 第三節 中引
- 第四節 大引
- 第五節 留方

第三條 賣買立會時間ヲ變更シ又ハ立會中ノ節數ヲ増減スルコトアルヘシ此場合ニハ農商務大臣ニ申告シ市場ニ揭示ス

第四條 賣買多額ニ上リタルトキ又ハ帳簿整理ニ必要アルトキ若クハ止ムヲ得サル事情アルトキハ臨時ニ立會時間ヲ變更シ又ハ休會スルコトヲ得此場合ニ於テハ其事由ヲ市場ニ揭示シ休會シタルトキハ農商務大臣ニ申告スヘシ

第五條 市場ニ入ラントスル者ハ當取引所ヨリ本人ニ交附シタル入場證券又ハ鑑札ヲ携帶スルニ非ラサレハ入場ヲ許サズ

但シ開場中參觀人ハ參觀席ノ外立會場ニ入ルコトヲ得ス

第二章 直取引及延取引

第六條 直取引及延取引ノ相對賣買、糶賣買、入札賣買ノ方法左ノ如シ

一 相對賣買ハ賣買者双方ノ相對ヲ以テ契約ヲナスモノトス

二 糶賣買ハ現物、見本、受渡期日等ヲ市場ニ揭示シ豫定ノ時刻ニ於テ其價格ヲ競争セシメ糶賣ハ最高價ヲ附シタル者ヲ確定ノ買主トシ又糶買ハ最低價ヲ附シタル者ヲ以テ確定ノ買主トス

三 入札賣買ハ現物、見本、銘柄數量、受渡期日等ヲ市場ニ揭示シ豫定ノ時刻ニ於テ記名投票ヲ以テ其價格ヲ競争セシメ開札ノ上入札賣ハ最高價ヲ附シタル者ヲ以テ確定ノ買主トシ又入札買ハ最低價ヲ附シタル者ヲ以テ確定ノ賣主トス

第七條 糶賣買又ハ入札賣買ヲ爲サントスル者ハ豫メ其要件ヲ記載シ當取引所ニ届出市場ニ揭示ヲ請求スヘシ

賣買ノ價格ニ指直ヲ要スル者ハ豫メ其代價ヲ明記シタル書面ニ記名捺印シ對絨ノ上取引所ニ差出シ置クヘシ

第八條 糶賣買又ハ入札賣買ヲ爲スニ當リ賣主又ハ買主ハ價格不適當ト認ムルトキ又ハ指直アルモノニシテ其指直ニ達セサルトキハ取引所ノ承認ヲ得テ其賣買ヲ決行セサルコトヲ得

第九條 入札賣買ニ附シ開札ノ上最高最低ノ同格數人アリタル場合ニ於テハ其入札人共同シテ其貨物ヲ引受クヘシ若シ之ヲ欲セサルトキハ其同額入札人ヲシテ即時價格ヲ競争セシムルカ又ハ抽籤ヲ以テ入札賣ノ場合ニ於テ買主又ハ入札買ノ場合ニ於テハ賣主ヲ確定スルモノトス

第十條 直取引及延取引ノ糶賣買、入札賣買ニ關シ賣買請求者ハ取引所ニ費用ヲ前納シテ

定期取引

新聞紙ノ廣告ヲ請求スルコトヲ得

第十一條 直取引ノ證據金ハ賣買總代價十五分ノ一以上トス其額ハ賣買當初市場ニ揭示シ即時之ヲ差入レシム

延取引ニ關スル諸證據金徵收ノ方法ハ定期取引諸證據金ノ徵收規定ヲ準用ス

第十二條 延取引ニ追證據金ヲ要スルトキハ定期取引中受渡ニ最モ近キ限月ノ每場平均直段ヲ標準トシ即日之ヲ差入レシム

第三章 定期取引

第十三條 定期取引ハ豫メ定メタル順序ニ從ヒ期月ヲ分チ賣買者双方同時ニ價格ヲ競定シ賣買ノ約定ヲ爲スモノトス取引所ハ其約定シタル賣買者及數量代價ヲ認メ之ヲ場帳ニ記入シタル上ハ約定確定ノ者トス

賣買者双方ハ各自其手帳ニ約定シタル物件ノ數量期月及相手方ノ商號等ヲ詳記シ取引所ノ檢印ヲ受クヘシ

取引所場帳ニ記入後ト雖モ次回立會開始前ニ賣買者双方ヨリ理由ヲ疏明シテ事實相違ノ申立ヲナストキハ一回限リ之ヲ訂正スルコトアルヘシ

第十四條 凡ソ賣買ノ約定ニシテ不穩當ト認ムルモノハ場帳ニ記入セサルヘシ

第十五條 定期取引ハ前日後場發會ヨリ當日日本場閉會迄ニ係ル賣買ノ分チ以テ計算ノ一區域トシ其時間ノ賣買總代價ヲ其總數量ニテ除シ(四捨五入シテ)一定ノ帳入直段ヲ設ケ

計算ス帳入直段ト各自約定直段トノ差金ハ本證據金差入レノ定刻マテニ決算受授ヲナスヘシ

立會中賣買停止ヲナシ本場閉會迄ニ之カ解除ヲ爲サ、ルトキハ停止前ノ賣買ヲ以テ前項ノ手續ニヨリ結了スヘシ

本場ノ立會ヲ爲サ、ルトキハ其前場一場限リノ賣買總代價ヲ其數量ニテ除シ一定ノ帳入直段ヲ設ケ決算ヲナシ前二項ノ手續ヲナサ、ルコトアルヘシ此場合ニ於テ本證據金差入レノ時限ハ市場ニ揭示ス

第十六條 定期取引ニ對スル諸證據金ノ金額及徵收時期ヲ定ムル左ノ如シ

一 本證據金ハ新規賣買高ニ對シ徵收スル者ニシテ賣買ノ實況ニヨリ賣買代價百分ノ二以上百分ノ三十以下ノ範圍ニ於テ理事會ニ於テ之ヲ定メ農商務大臣ニ申告シ市場ニ揭示スヘシ

本證據金ハ前日後場發會ヨリ當日日本場閉會迄ニ係ル賣買ノ分ニ對シ當日後場發會マテニ差入ルヘシ

但シ後場發會ヲ爲サ、ルトキハ本場閉會後二時間以ニ差入ルヘシ

二 追證據金ノ金額ハ本證據金ノ半額トス

追證據金ハ本證據金ノ半額以上ヲ減少シタルトキ每場ノ賣買平均直段ヲ標準トシ幾回ニテモ差入レシメ其相場ノ遂次帳入直段ニ復スルニ從ヒ便宜還附スルコトアルヘシ追證據金ハ本場ニ於テ徵收ノ報告ヲ受ケタル分ハ後場發會マテ後場ニ於テ

定期取引

定期取引

徴收ノ報告ヲ受ケタル分ハ翌日本場發會マテニ差入レシム

但シ相場ノ景況ニヨリ即時之ヲ差入レシム

買買停止禁止休會休業中ト雖モ地方ノ時價ニ高低アルヲ認メ追證據金ノ徴收ヲ必要トスルトキハ期日ヲ定メ之ヲ差入レシムルコトアルヘシ

三 定時增證據金ノ金額ハ本證據金ノ四分ノ一以上半額以下ノ範圍ニ於テ徴收期日五日前其金額ヲ定メ市場ニ揭示スヘシ

受渡約定期日前五日以後ニ於テ新ニ爲シタル賣買ニ對スル分ハ本證據金ト同時ニ之ヲ差入レシム

四 臨時增證據金ノ金額ハ總代價十分ノ五以下ノ範圍ニ於テ其金額及徴收日時ヲ定メ之ヲ市場ニ揭示ス

但シ切迫ノ場合ニ於テハ即時差入レシムルコトアルヘシ

連日賣買成立セサル期月ノ從前建米ニ對シテハ他ノ期月米相場ノ高低ニ比準シ追證據金ヲ差入レシム

第十七條 本證據金未入ノ賣買高多額ニ上ルモノアルトキハ即時其者ヨリ本證據金ヲ差出サシメ之ヲ納メタル後ニアラサレハ相場帳ヘ記入ヲ許サ、ルコトアルヘシ

賣買ノ情況ニヨリ理事會ノ決議ヲ以テ賣買石數ヲ制限シ又ハ新規賣買ヲ爲サントスル石數ニ相當以上ノ本證據金若クハ其代用品ヲ前以取引所ニ預入レシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ豫メ其旨ヲ市場ニ揭示スルモノトス

第十八條 賣買物件ノ受渡計算結了シタルトキハ其證據金預リ通帳又ハ切符ヲ以テ其拂戻ヲ求ムヘシ取引所ハ通帳ニ消印ヲ捺シ又ハ切符ト引換ノ上證據金ヲ返附スヘシ

第十九條 受渡期日前ニ於テ賣買ヲ解約シタルトキハ其關係ヲ完済シタル後ニアラサレハ證據金ヲ返附セス

但シ證據金返附ノ場合ハ前條ノ例ニ據ル

第四章 受 渡

第二十條 其期月賣買ノ閉會ハ毎月最終ノ營業日ノ前日本場限リトス

但シ六月限ハ同月二十八日十二月限ハ同月二十日ヲ以テ閉會トス若シ同日休日ニ當ルトキハ其前日ニ繰上ク

第二十一條 定期取引ノ受渡直段ハ其期月閉會ノ日ヨリ前七日間ノ帳入直段(四拾五入シテ錢位ニ止ム)ヲ平均シタルモノトス最モ期月閉會日ニ賣買ナキカ又ハ連日賣買ナキトキハ最終ニ賣買セシ日ヨリ遡リ實際賣買シタル七日間ノ帳入直段(四拾五入シテ錢位ニ止ム)ヲ平均スヘシ

第二十二條 帳入直段ト受渡直段トノ差金ハ渡米ノ届出代金備附ノ當日正午十二時迄ニ決算スヘシ

第二十三條 定期取引ハ當取引所ニ於テ定メタル格附表ニヨリ代米ヲ用ユルコトヲ得

但シ今摺米ハ相當ノ格下ケヲ以テ受渡ニ用ユルコトヲ得

第二十四條 定期取引受渡ノ際ニ當リ買主二名以上ニシテ渡米數種アルトキハ役員立會

受 渡

受渡

ノ上抽籤ヲ以テ其銘柄數量及藏出シ日時等ヲ定メ賣買者双方ヘ其旨ヲ通知シ休日及雨天ノ外日々取引所指定ノ時限ニ於テ受渡ヲ執行スヘシ

但シ休日雨天ト雖賣買者双方ノ合意ヲ以テ受渡ヲ望ムトキハ時宜ニヨリ執行スルコトアルヘシ

正當ノ理由アリテ受渡ノ執行ヲナス能ハサルモノハ受渡指定時刻前ニ其事實ヲ疏明シ取引所ニ届出ツヘシ若シ其時刻前ニ届出ヲナスシテ受渡ヲ爲サ、ル者ハ第二十五條ノ例ニヨリ受渡ヲ結了スヘシ

第二十五條 受渡ノ際立會ヲナス又ハ之ヲ拒ミタルトキハ立會フヘキ權利ヲ拋棄シタルモノト見做シ理事及現品調査係ニ於テ受渡ヲ結了スヘシ此場合ニ於テ賣買者ハ故障ヲ唱フルコトヲ得ス

第二十六條 定期取引ノ受渡ハ毎期月ノ翌月一日ヨリ其手續ヲ執行スヘシ最モ十二月限ハ同月二十二日ヨリ執行シ同月二十八日迄ハ雨天ノ外ハ休業セサルヘシ

第二十七條 受渡米備高十石ノ俵數ハ左ノ割合ニヨル

一三斗俵 三十俵

一四斗俵 二十五俵

一五斗俵 二十俵

但シ取引所ノ承諾ヲ得タルトキハ石數ヲ以テ備米ヲナスコトヲ得

第二十八條 受渡品數量査定ノ上備品一口ノ高ニ對シ二割以上ノ不足品アルトキハ第五

十三條ノ規定ニヨリ處斷ス

第二十九條 備品一口ノ高ニ對シ二割以下ノ不足品アルトキ又ハ受渡米中ニ於テ格付表中ニ記載スル最下級外ニ當ル品質并ニ糴米雜穀等混入シタルトキハ其當日ヨリ五日間ニ之ヲ補充又ハ差替ヲ爲スヘシ此代品ヲ備フルハ一回限リトス

但シ双方ノ合意ヲ以テ受渡ヲ求ムトキハ此限ニアラス

第三十條 賣主ヨリ渡品ノ數量銘柄倉所等ヲ届出テタル後水火盜難其他非常ノ災厄ニ罹リ亡失減滅スルカ又ハ以上ノ災害ニ依リ受渡ニ適セサル品位ニ變更シタル實證アルトキハ其數量ニ對シテハ受渡取引直段ヲ以テ取引ヲ決濟スルコトヲ得

但シ賣方ニ於テ代米受渡ヲ請求スルトキハ買方ハ之ヲ承諾スヘシ其代米提供ノ期限ハ受渡當日ヨリ一週間以内トス

第三十一條 別段ノ契約アルニ非サレハ受渡品ニ對スル運搬廻シ斤量ノ査定等總テ受渡迄ノ費用ハ賣方之ヲ負擔シ受渡後ノ費用ハ買主之ヲ負擔ス

第三十二條 受渡執行ノ區域ハ當取引所内及當取引所附屬倉庫又ハ特別契約アル當取引所地區内ノ倉庫ニ限ル

前項ノ倉庫ニ貯藏米充満スルカ又ハ入米約定濟ノ爲メ倉庫主ニ於テ依頼ニ應スル能ハサル等實際入米ニ差支アルトキハ當取引所地區内限リ就レノ場所ヲ問ハズ現米ノ貯藏場ニ就テ受渡ヲ執行スルモノトス但シ初メテ受渡米ヲ貯藏セントスル場所ハ豫メ取引所ノ承認ヲ受クヘシ

受渡

受 渡

區域内ト雖其場所ノ模様ニヨリ受渡上運搬ニ差支アリト認ムルトキハ他ニ移轉セシムルコトアルヘシ其費用ハ賣主ノ負擔トス

第三十三條 受渡ノ準備ヲナス爲メ豫メ當取引所ニ對シ品位格附及數量ノ査定ヲ請求スル者ハ其期月ニ至リ受渡期日五日前マテニ銘柄藏所ヲ申出ツヘシ當取引所ハ調査係及委員立會ノ上其査定ヲナシ當取引所ノ倉庫及特別契約アル倉庫ノ外ハ其積入區劃ニ繩張ヲナシ封印ヲ用ヒ又ハ倉庫ニ封印スヘシ此査定ニ對シ異議ヲ唱フルコトヲ得ス

但シ豫定格附ノ査定ハ役員ノ見込ヲ以テ其一部又ハ全部ヲ拒絕スルコトアルヘシ前項ノ査定ヲ經タルモノ當取引所ノ倉庫ニアル者ハ勿論特別契約ノ倉庫ニアルモノモ其倉庫主ヨリ發シタル米預リ證券及質入證券ニ銘柄價格數量及其有効期限等ヲ記入シ又荷主ノ請求ニヨリ枳量ヲ記入スヘシ但シ此枳量ハ双方合意ノ上ニアラサレハ受渡ニ用ユルコトヲ得ス

第三十四條 當取引所ニ對シ品位格附價格及數量ノ査定ヲ請フモノハ取引所ニ於テ定メタル手數料及仲仕賃金ヲ納ムヘシ

第三十五條 品位格附ノ査定ハ當取引所調査係二名以上立會ノ上左ノ方法ニヨリ之ヲ行フ

- 一 一併凡ソ十石毎ニ積立テ其内ヨリ抽籤ヲ以テ一併ヲ拔キ以テ品位審査ノ用ニ充ツ但シ十石以下ノモノハ其全部ヲ用ユ
- 二 同一ノ品柄ハ百石迄ヲ一區分トシ平均ノ品位格附ヲナスヘシ最モ同一ノ品柄ハ百

石ヲ超過スルモ双方合意ノ上總平均ヲ以テ受渡ヲナスハ適宜タルヘシ

三 審査用品ニ充ツルモノハ一俵毎ニ俵裝米質銘柄產年度等ヲ審査シ格附表ノ等級ニ據リ標準米ニ照シ品質色澤形狀乾燥調整ノ五目ヲ鑑別シ品位價格ヲ審査評定シ其價格ヲ合計シ其一併ノ俵數ニ割リ以テ一區分石數ノ平均價格トス若シ審査用品中糯米雜穀等アルトキハ之ヲ除去シ枳廻リ用品中ヨリ抽籤ヲ以テ代米ヲ填補スヘシ但シ價格ヲ平均シタル上格附表ニ掲クル最下級外ノ價格ニ當ル米ハ受渡ニ用ユルコトヲ得ス

受渡當日其現場ニ於テ格附ヲナスモノニシテ審査用品中銘柄違產年度違等アラハ總併中同俵數ノ混入シアルモノト見做シ一俵ニ付金十錢宛ノ過怠金ヲ差出サシメ受取方ニ渡シ然ル上其米ヲ以テ受渡ヲ結了スヘシ格附ヲ終リタル後他ノ併中ヨリ發見スルモ過怠金ヲ出サシムル限ニ非ス

但シ第三十三條ニヨリ豫メ品位格附ヲナシタル者ヲ受渡ニ用ヒタルトキモ又本條ニ同シ

第三十六條 受渡米枳量査定ノ方法左ノ如シ

- 一 一併凡ソ十石毎ニ積立テ其内ヨリ抽籤ヲ以テ一併ヲ拔キ以テ枳廻シ審査用ニ充ツ但シ十石以下ノモノハ其全部ヲ用ユ
- 二 同一ノ品柄ハ百石迄ヲ一區分トシ平均ノ枳廻シ石締ヲナスヘシ最モ同一ノ品柄ハ百石ヲ超過スルモ双方ノ合意ニヨリ總平均ヲ以テ受渡ヲナスハ適宜タルヘシ

受 渡

受渡

三 樹廻シ用品中ヨリ更ニ抽籤ヲ以テ三斗俵四斗俵ハ三俵五斗俵ハ二俵ヲ撰ミ樽臺一斗俵ニテ概棒前引ノ用法ニヨリ公平ニ升量シ其現量ヲ一區分ノ俵數ニ乗シ以テ總石締ヲナスヘシ

第三十七條 第三十三條ノ規定ニ從ヒ豫メ品位格附ヲナシタル前年産米(古米ヲ)ハ毎年十一月ヨリ翌年一月限迄三ヶ月間ハ既定ノ格附ヲ以テ受渡ヲナスヘシ

古米標準ニヨリ豫メ品位格附ヲナシタル當年産米(古米ヲ)ハ毎年十一月ヨリ其古米建標準賣買ノ期ヲ終ヘル迄ハ既定ノ格付ヲ以テ受渡ヲナスヘシ

第三十八條 新米標準ニヨリ豫メ品位格附ヲナシタルモノハ其定期新米建二月限ヨリ四月中迄ノ間(例ヘバ二月中ニ格附シタルモノハ四月限迄即チ三ヶ月間又ハ三月中ニ格附シタルモノハ四月限迄即チ二ヶ月間タルヘシ)ハ既定ノ格付ヲ以テ受渡ヲナスヘシ

新米標準ニヨリ豫メ品位格附ヲナシタル前年産米(古米ヲ)毎年二月限ヨリ四月中迄ノ間(例ヘバ二月中ニ格附シタルモノハ四月限迄即チ三ヶ月間又ハ三月中ニ格附シタルモノハ四月限迄即チ二ヶ月間タルヘシ)ハ既定ノ格付ヲ以テ受渡ヲナスヘシ

第三十九條 毎年五月ヨリ十月迄ニ豫メ米ノ品位格付ヲナシタルモノハ一ヶ月間既定ノ格付ヲ以テ受渡ヲナスヘシ

第四十條 受渡米審査及格付ニ對シテハ異議ヲ唱フルコトヲ許サス若シ異議ヲ唱ヘ之カ受渡ヲ執行セサルモノハ違約者トシ第五十三條ノ規定ニヨリ處分スヘシ

第四十一條 輕俵ハ至當ノ補充米ヲ以テ受渡ヲナスヘシ又過米ハ賣主ヘ返還ス

第四十二條 審査用品中其俵裝粗惡ナルモノ又ハ濡澤手米一重俵及立繩ナキ俵等アルト

キハ審査ノ上一區分ノ總數ニ平均シ渡方ヨリ改裝料トシテ金三錢ヲ受取方ニ支拂フヘシ又濡澤手米ニ限リ半數以上アルトキハ一俵ニ付改裝料金四錢宛一重俵立繩ナキ俵等半數以上アルトキハ一俵ニ付金八錢ノ改裝料ヲ賣方ヨリ受取方ニ支拂フモノトス但シ賣方ノ都合ニヨリ之ヲ別拵トシテ受渡ヲナスコトアルモ改裝料ハ之ヲ支拂フヘシ

第四十三條 朝鮮米ハ二十呎ヲ以テ十石ノ備高トス其他ノ外國米ハ七袋ヲ以テ千斤ノ備

高トシ本章ノ規定ニ準シ品位格付及樹量(朝鮮米)斤量(暹羅米)ノ査定ヲ施行スルモノトス

第四十四條 當取引所ノ倉庫及特別契約アル倉庫ノ預リ證券及質入證券ヲ以テ受渡ノ備品トナシタルトキハ受渡執行濟前ト雖時宜ニヨリ代金ノ内渡ヲ爲スコトアルヘシ

第五章 倉庫

第四十五條 當取引所倉庫ノ貨物預リ期限ハ滿六ヶ月以内トシ貨主ヨリ預入レノ際約定スヘシ滿期ニ至リ尙繼續ヲ求ムルモノハ更ニ預リ證券及質入證券ヲ書換フヘシ此場合ト雖モ六ヶ月ヲ超過スルコトヲ得ス

但シ貨物預リ期間中氣候ニ依リ其品質ニ濕氣ヲ含ミ又ハ變質ノ患アリト認ムルトキハ取引所ハ其貨物ノ積替ヲ命スヘシ此場合ニ於ケル諸費用ハ貨主ノ負擔トス

第四十六條 預リ證券及質入證券ニ對スル手数料及保管料ノ割合ハ取引所ニ於テ其額ヲ定メ之ヲ公示スヘシ

倉庫

違約處分

第四十七條 預リ證券及質入證券ヲ發行スル場合ニ於テ其品位格附ノ審査ヲ請フ者アルトキハ受渡審査ノ例ニ據リ之ヲ定ム

第四十八條 預リ證券又ハ質入證券ヲ亡失シタルトキハ速ニ當取引所ニ届出ツヘシ取引所ハ本人ノ費用ヲ以テ新聞紙ニ公告シ十五日ヲ經タル後更ニ新證書ヲ交付スヘシ但シ除權判決ヲ經テ其判決書ヲ届書ニ添フヘシ

第四十九條 當取引所ノ調査ヲ經テ其品位格付銘柄數量枘量等ヲ明記シタル預リ證券及質入證券ト雖賣買ノ時ニ當リ營業ニ差支ナキ限リハ買主ニ於テ其現物ノ實見ヲ請求スルコトヲ得

第六章 違約處分

第五十條 本章ノ規定ニヨリ違約處分ニ付シタルトキハ先ツ其者ノ諸證據金ヲ以テ違約價金及其他ノ辨償ニ充用シ尙不足アルトキハ五日ヨリ多カラサル期間内ニ期日ヲ指定シ之ヲ求償ス若シ其期日ニ至ルモ之カ不足額ヲ納入セサルトキハ除名ニ處シ身元保證金ヲ以テ辨償ニ充當ス

第五十一條 直取引延取引ノ約定ヲナシ諸證據金ノ差入レヲ怠リタル者若クハ其期日ニ至リ受渡ヲ怠リタルモノハ當取引所ニ於テ選定シタル評價人ヲシテ其物品ヲ評價セシメ其價格ヲ標準トシテ決濟ヲナシ尙違約價金トシテ該直段十分ノ一ノ金額ヲ其者ノ諸證據金及身元保證金ヲ以テ相手方ニ辨償セシム

違約處分

第五十二條 定期取引ノ約定ヲナシタルモノ諸證據金ノ差入レヲ怠リタルトキハ其部分ニ係ル賣買ヲ解約セシムルカ又ハ入札ニ付シ之カ引受人ヲ定メテ其計算ヲナスヘシ但シ入札ニ付スルモ引受人ヲ定ムル能ハサルトキハ當日當場ヨリ遡リ前立會參場通シテ四場ニ亘ル各場ノ平均直段ヲ平均シ(四拾五入シテ)之ヲ標準トシ其部分ニ係ル石高ヲ相手方總石高ニ割當テ遞減シ其計算ヲナスヘシ

解約ヲナシタルトキハ之ヨリ生スル損害ハ相互間ニ於テ賠償セシム

前二項ノ場合ニ於テハ既ニ差入アル諸證據金及身元保證金ヲ以テ之レカ決濟ヲナス

入札ニ付シタル賣買米ハ引受人確定シタルトキハ取引所ノ指定スル直段ヲ以テ帳入届ヲナシ相當ノ證據金ヲ差入レシム之ニ背キタルトキハ違約者トシ本條ニヨリ處分ス

入札ニ關スル細則ハ理事會之ヲ定ム

第五十三條 定期取引ノ渡米届出代金備付定刻ニ至リ渡米ノ届出又ハ代金ノ差出シヲ怠ルモノ若クハ受渡ノ際渡米ヲ差出サ、ルモノ又第二十八條ノ不足米アルトキ第二十九條及第三十條但シ書ノ場合ニ於テ其期間ニ代米ヲ備ヘサルモノ及代米ヲ備フルモ混入米最下級外ニ當ル米アルトキ并ニ第四十條ノ規定ニ違ヒ異議ヲ唱ヘ受渡ヲ執行セサルモノハ違約者トシ其違約石數ニ對シ受渡直段十分ノ二ノ金額ヲ其者ノ諸證據金及身元保證金ヲ以テ相手方ニ辨償セシム

但シ相手方數人アルトキハ違約ノ分ヲ石數ニ割當テ其高ヲ遞減シ受渡ヲナスモノトス

違約處分

- 第五十四條 賣買手数料又ハ賣買直段ト帳入直段トノ差金受渡直段ト帳入直段トノ差金ノ差出ヲ怠ルモノハ其諸證據金及身元保證金ヲ以テ之ヲ辨償セシムヘシ
- 第五十五條 第二十八條第二十九條ノ場合ニ於テ其期間内ニ補充米ヲ備フルモ受取方ニ於テ之ヲ受取ラサルトキハ理事及調査係ニ於テ受渡ヲ執行スヘシ
- 但シ第二十四條第二項第二十五條及前項ノ場合ニ於テ受取方ハ其受取米ヲ引取ラサルトキハ五百圓以内ノ過怠金ヲ科シ且除名ニ處シ受取方ノ責任ヲ以テ適宜ノ倉庫ニ保管セシム
- 第五十六條 受渡結了ノ上正當ノ理由ナク格違等ノ決算ヲナサ、ルモノハ當取引所ノ格付枳量石締等ニヨリ取引所ニ於テ決算シ不足金アルトキハ受渡代金及身元保證金ヲ以テ之ヲ辨償セシム
- 第五十七條 過怠金ヲ科セラレ七日内ニ差出サザルトキハ其者ノ身元保證金ヲ以テ辨償セシム若シ其者ニ賣買建米アルトキハ第五十一條及第五十二條ヲ準用シ處分スヘシ
- 第五十八條 違約處分ヲ受ケタルトキハ其者ニ係ル諸證據金預リ通帳及切符ヲ返還スヘシ之ヲ返還セサルモ總テ無効トス

東京廻米問屋市場規約

第一章 總則

- 第一條 當市場ハ東京廻米問屋同盟者ノ共立ニシテ専ラ米雜穀ヲ賣買取引スル所トス
- 第二條 當市場ハ賣買取引上ノ弊風ヲ矯正シ自他ノ便益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第三條 當市場ノ名稱ハ東京廻米問屋市場ト稱シ東京市深川區佐賀町二丁目五十五番地ニ設置ス
- 第四條 當市場内ニハ同盟者各自ニ賣捌所ヲ設ケ店頭ニ何某ト記載シタル表札ヲ掲クヘシ
- 第五條 賣買取引ハ各自相對ニ任スヘシ故ニ當市場ハ自ラ賣買者トナルヲ得ス且目的外ノ事業ニ關係セサルハ勿論決シテ市場ノ負擔スヘキ責任ナキモノトス

第二章 賣買取引

- 第六條 當市場ノ營業日及時間ハ當分左ノ通相定ム
 - 自三月至八月 午前八時開市 午前十一時閉場
 - 自九月至二月 午前九時開市 正午十二時閉場
- 但年首三日年末五日間一月十五日十六日七月十五日十六日大祭祝日及日曜日ハ休業

總則 賣買取引

賣買取引

ス其他若シ臨時ニ間市又ハ休業スルトキハ前以テ其旨ヲ揭示スヘシ

第七條 當市場ハ汎ク各種ノ米雜穀ヲ賣買取引スル所ナルヲ以テ何人ニテモ買主トナルハ隨意タルヘシト雖トモ賣主ハ當市場同盟者又ハ仲次人ニ限ルヘシ

第八條 米雜穀ノ賣買ハ必ラス見本ヲ以テスヘシ其見本ハ一定ノ場所ニ陳列シ之レヲ買主ニ示スヘシ

第九條 見本ハ一口ノ銘柄中二十五俵ヲ平均法ト定メ一面二十五書ノ見本益ニ指取リ之レヲ平均合一シタルモノヲ以テ一定ノ見本ト定ムヘシ

但一口五十俵以下又ハ五百俵以上ノモノハ其口數ニ應シ至當ノ割合ヲ以テスヘシ

第十條 賣買ノ呼價ハ總テ金一圓ニ對スル樹目ヲ以テスヘシ

第十一條 賣買ハ俵數ヲ以テスヘシ

第十二條 見本ヲ以テ賣買手合ヲ爲シタルトキハ買主ハ手附金トシテ其代價ノ凡一割金百圓ニ付金十圓ヲ即時賣主ヘ相渡シ賣附報告書ヲ受取り當日ヨリ五日目以内ニ殘金引換其藏所ニ於テ受渡ヲ爲スヘシ

第十三條 賣買手合ヲ爲シタルトキ若シ其現品カ見本ト相違シタル場合ニ於テハ賣主ヨリ相當ノ代品ヲ差出スカ又ハ示談解約スル等ハ總テ双方ノ都合ニ任スヘシ

第十四條 入札法ヲ以テ米雜穀ヲ賣拂ハントスルトキハ其見本及要領書品銘荷印俵數樹量藏所等ヲ記スヲ市場事務所ヘ差出スヘシ事務所ハ其旨ヲ揭示シ入札并ニ開札ノ手續キヲ爲スヘシ

第十五條 入札法ヲ以テ米雜穀ヲ賣拂フハ五百俵以上タルヘシ

但濡澤手品傷ミ其他特種ノ事情アルモノハ此限りニアラス

第十六條 入札拂ノ米雜穀ハ開札ノ上最高直段ヨリ漸次高直ヲ逐ヒテ其口高ニ滿タシメ賣拂フヘシ若シ又其直段ニ同價ノモノアルトキハ入札ノ順番ニ依リ落札中ニ繰込ムモノトス

第十七條 一口ニ對スル入札ノ數五個ニ滿タサルトキ若シ拂主ニ於テ其入札直段ヲ不相當ト認ムルトキハ賣拂ハサルコトヲ得ヘシ

第十八條 入札拂ノトキハ必ラス其見本ヲ入札場ヘ陳列スヘシト雖トモ入札人ハ尙藏所ニ就テ其現品ヲ調査シタル上入札スヘシ

第十九條 米雜穀ノ品評ヲ請求スル者アルトキハ當市場ニ於テハ別ニ定ムル所ノ品評規則ニ由リ取扱フヘシ

第二十條 藏所ニ於テ米雜穀ノ受渡ヲ爲スハ每日日出ヨリ午後三時迄ト定ムト雖トモ七月十六日ヨリ九月三十日迄ハ正午十二時限トス尤モ至急ヲ要スルモノハ時限外ト雖トモ示談ノ上其取扱ヲ爲スコトアルヘシ

但年首三日年末三日間一月十五日十六日七月十五日十六日大祭祝日及毎月第二第四日曜日ハ休業ス其他若シ臨時ニ出入ヲ爲シ又ハ之レヲ休止スルトキハ前以テ其旨ヲ揭示スヘシ

第二十一條 樹廻シノ方法ハ總テ深川一般ノ慣例ニ從フヘシ

賣買取引

第三章 經費

第二十二條 當市場ノ諸經費ハ米雜穀ノ賣捌高ニ應シ賣主ヨリ出金セシムルモノトス
第二十三條 經費ハ毎年定式ノ總會ニ於テ一ケ年間米雜穀賣捌高ノ豫算ヲ以テ歩合ヲ定メ毎月一回宛取集ムヘシ

計算期ハ一月ヨリ十二月ニ至ルモノトス

第二十四條 前條ノ豫算歩合金ニテ經費ニ不足ヲ生スルトキハ各賣捌高ニ割當テ出金セシメ又殘餘アルトキハ當市場ノ積立金トナシ又ハ次年ノ經費ニ充ツルモノトス

第二十五條 賣買手合後品位違ヒ若クハ其他ノ事故ニ依リ示談解約スルコトアルモ規定ノ經費歩合金ハ尙之レヲ支拂モノトス

第二十六條 入札法ヲ以テ賣捌キタルモノハ通常經費歩合金ノ一倍ヲ其拂主ヨリ差出スヘシ

但入札ノ數五個未滿ニシテ拂止ヲ爲スコトアルモ尙前項經費歩合金ヲ支拂フモノトス

第四章 積立金

第二十七條 當市場ハ經費歩合ノ殘餘其他收入金ヲ以テ積立金ヲ爲シ臨時非常ノ準備ニ充ツ故ニ同盟者ニ於テ分與又ハ他ニ動カスコトヲ得ス

第二十八條 積立金ハ確實ナル銀行ヘ利付預金トナシ其預リ證書ヲ保存スヘシ

第五章 同盟者

第二十九條 同盟者ハ加盟ノ前後ヲ問ハス當市場ニ關スル一切ノ權利義務ハ總テ平等均一タルヘシ

第三十條 同盟者ハ東京市内ニ商店ヲ置キ現ニ一ケ年以上廻米ノ業ヲ營ミシ者ニ限ルヘシ

第三十一條 左ニ該當スル者ハ營業上自然其利害ヲ異ニシ共同一致ノ實ヲ擧クル能ハサルヲ以テ同盟者ト爲スコトヲ得ス

- 一 平常間斷ナク廻米ノ業ヲ營マサル者
- 一 他ノ米商組合ニ關係アルモノ

第三十二條 左ノ各項ニ觸ル、者ハ同盟者タルコトヲ得ス

- 一 家資分産又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ニ至ラサル者
- 一 公權剝奪若クハ停止中ノ者
- 一 禁錮一ケ年以上ノ刑ニ處セラレ滿期後七ケ年ヲ經サル者
- 一 婦女及未丁年者

但代理人後見人ヲ以テスルモノハ此限ニアラス

第三十三條 新規ニ加盟セントスル者ハ同盟者ノ紹介ヲ以テ總行事ヘ申込ヘシ總行事ハ

同盟者

仲次人

總會ノ決議ヲ經テ其諾否ヲ定ムヘシ

第三十四條 加盟ノ承諾ヲ得タルモノハ市場ノ設置資金并ニ積立金ヲ現在員ニ割當タル金額ヲ五日以内ニ差出スヘシ

但市場設置資金并ニ積立金ハ最近ノ調査ニ係ル財産目錄ニ依ル

第三十五條 前條ニ違背スルトキハ加盟ノ承諾ヲ無効トス

第三十六條 同盟ヲ退去セントスルトキハ其旨書面ヲ以テ總行事へ申出ヘシ總行事ハ役員會ノ決議ヲ經タル上退去セシメ之ヲ一同へ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第三十四條ノ出金ハ返還セサルモノトス但會計上餘裕アルトキハ最近ノ調査ニ係ル市場設置資金并積立金ヲ現在員ニ割當タル金額ノ十分ノ五ヨリ多カラサル金圓ヲ返附スルコトヲ得

第三十七條 同盟者ニシテ第五章第三十一條第三十二條ノ事實ヲ生シ又ハ一ケ年間休業ヲ爲シ市場ノ經費ヲ支拂ハサルモノハ其休業届ヲ爲スト爲サ、ルトニ拘ラス同盟者タルノ資格ヲ失フモノトス

第六章 仲次人

第三十八條 仲次人ハ同盟者ノ依託ニ應ジ市場内ニ於テ米雜穀ノ賣捌ヲ爲スモノトス

第三十九條 仲次人ハ東京市内ニ住居シ從來米雜穀ノ營業セシ者ニ限ルヘシ

但其人員ハ當分ノ内二十人ヲ以テ限リトス

第四十條 新規ニ仲次人ヲラントスル者ハ書面ヲ以テ總行事へ申出ヘシ總行事ハ總會ノ決議ヲ經テ其諾否ヲ決スヘシ

第四十一條 仲次人加入ノ許諾ヲ得タルトキハ總會ノ決定シタル信認金ヲ預ケ入ルヘシ但信認金ハ無記名公債證書ヲ以テ代用スルコトヲ得

第四十二條 仲次人事故アリテ退去セントスルトキハ書面ヲ以テ總行事へ申出ヘシ總行事ハ役員會ノ決議ヲ經テ其退去ヲ許シ且之レト同時ニ同盟員へ報告シタル上信認金ヲ返還スヘシ

第四十三條 本規約第五章第三十二條ハ仲次人ニモ又之レヲ適用ス

第七章 役員及權限

第四十四條 東京廻米問屋市場ニ左ノ役員及使用人ヲ置ク

役員

- 總行事 一人
- 行事 二人
- 顧問役 一人
- 但便宜之レヲ置ク
- 相談役 四人
- 使用人

役員及權限

役員及権限

書記長 一人
 市場係 無定員
 書記 無定員

第四十五條 總行理事ハ同盟者中ヨリ公選シ其任期ヲ滿一ケ年ト定メ毎年一月ノ定式總會ニ於テ改選スルモノトス

但再撰スルコトヲ得

第四十六條 顧問役ハ同盟者タルト否トニ拘ラス同盟者一同ノ希望ニ依リ本業上ニ經驗アル人ヘ便宜委囑スルコトヲ得

但其任期ハ本章第四十五條ニ同シ

第四十七條 相談役ハ同盟者中ヨリ公選シ其任期ヲ一ケ年ト定メ半期毎ニ其半數ヲ改選スルモノトス

但退役後滿一ケ年間ハ再選スルコトヲ得ス

第四十八條 書記長以下ノ使用人ハ役員會ノ協議ヲ經テ任免黜陟スルモノトス

第四十九條 總行理事及顧問役相談役ハ之レヲ名譽員トシ無給トス尤モ書記長以下ノ使用人ヘハ相當ノ給料ヲ付與スヘシ

但書記長以下ハ事務ノ繁閑及勤惰等ニ由リ毎季決算ノ都度相當ノ賞譽金ヲ與フヘシ

第五十條 總行理事ハ市場全般ノ事ヲ統理スヘシ

第五十一條 總行理事ハ理事ノ稟議又ハ役員會ノ評議ヲ經テ事ヲ處理ス尤モ左ノ事項ハ同

盟者總會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ之ヲ決行スルコトヲ得ス

一 市場ノ存廢ニ關スル事

一 經費歩合金ノ増減ニ關スル事

一 諸規則ノ加除改正ニ關スル事

一 同盟者ノ進退并ニ仲次人ノ加入ニ關スル事

一 本規約第十一章第六十八條及同第六十九條ノ處分ヲ爲ス事

第五十二條 理事ハ總行理事ノ職務ヲ補翼シ常ニ庶務及會計ノ事務ヲ擔當シ若シ總行理事々

故アルトキハ代理ノ任ニ充ルモノトス

第五十三條 顧問役ハ總行理事及理事ノ諮詢ニ應シ其意見ヲ開陳スルモノトス

第五十四條 相談役ハ役員會議ニ與リ又ハ總行理事及理事ノ諮問ニ應シテ其意見ヲ陳述ス

ルモノトス

第五十五條 書記長ハ事ヲ總行理事ニ受ケ市場諸般ノ事務ヲ整理シ常務外並ニ例規ナキ事件ハ總行理事ノ指揮ニ從フヘシ

第五十六條 市場係及書記ハ總行理事及書記長ノ指揮ニ從ヒ其事務ヲ分掌ス

市場係ハ左ノ事務ヲ掌理ス

一 毎日市場ニ於テ賣買シタル米雜穀ノ箇數價格等ノ届出ヲ點檢シ之ヲ賣買帳ニ登錄シテ經費歩合金取立方ノ仕出書ヲ作ル事

二 米雜穀賣買取引上ノ當否ヲ監察シ兼テ市場内ノ取締方ニ注意スル事

役員及権限

印章 會議

三 米雜穀ノ鑑定ヲ請フモノアルトキハ其考案及評價ヲ述ル事
書記ハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一 市場一切ノ庶務計算及諸報告ヲ編纂スル事
- 二 諸記録往復ノ文書立案商況報告ヲ調査スル事

第八章 印章

第五十七條 當市場ニ於テ使用スル印章ハ左ノ如シ

東京廻
米問屋
市場印

東京廻
米問屋
市場事務所印

總行事
何某

行 事
何 某

第五十八條 當市場ノ印章及役員ノ印章ハ豫テ印鑑簿ヲ作りテ之ヲ農商務省へ届置キ若シ改刻スルトキハ必ラス其都度届置クモノトス

第九章 會議

第五十九條 會議ヲ分テ二トス即チ一ヲ定式總會ト稱シ一ヲ臨時總會トス

但會長ハ定式及臨時ヲ問ハス總行事ヲ以テ之レニ充ツ

第六十條 定式總會ハ毎年一月七月ノ兩度ニ開會シ會計上其他ノ諸報告ヲ爲シ役員ノ選

舉等ヲ爲スモノトス

第六十一條 臨時總會ハ役員ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ同盟者三分ノ一以上ノ請求アルトキハ何時ニテモ開會スルコトヲ得

但同盟者ヨリ開會ヲ請求スルトキハ豫シメ書面ヲ以テ其理由ヲ申立ルコトヲ要ス

第六十二條 會議ハ同盟者過半數ノ出席アルニアラサレハ之レヲ開クコトヲ得ス

但會計其他ノ報告ヲ爲スハ此限りニアラス

第六十三條 議事ハ過半數ヲ以テ決ス若シ可否相半スルトキハ會長ノ擇フ所ニ從フヘシ

第六十四條 同盟者事故アリテ定式及臨時會ニ出席シ難キトキハ代理者ヲ差出スモ妨ケ

ナシト雖トモ代理人ノ姓名ハ豫シメ總行事へ届出テ其承認ヲ經タル者ニ限ルヘシ

第六十五條 總行事及相談役ノ評議ヲ役員會ト稱シ本規約第七章第五十一條ニ記載スル事項ヲ除クノ外市場ニ關スル諸般ノ事柄ハ總テ役員會ニ於テ協議決行スルコトヲ得

但當分ノ内毎月三回(七ノ日)ト定ムト雖トモ臨時必要ノ事件アルトキハ隨時開會スルモノトス

第六十六條 同盟者ハ毎月七日ヲ以テ月次例會ヲ開キ營業上ノ談話ヲ爲スモノトス

第十章 仲裁

第六十七條 賣買取引上ニ關シ若シ紛議ヲ生スルコトアルトキハ總行事ノ意見ヲ以テ二

仲裁

名以上ノ臨時仲裁委員ヲ囑托シ其事ヲ取扱ハシムル事アルヘシ

第十一章 違約處分

第六十八條 賣買取引上萬一違約者アリテ其一方ニ損害ヲ被ラシメタルトキハ違約者ヨリ其相手方ヘ對シテ損失金ヲ償ハシムルモノトス若シ義務ヲ果サ、ル者アルトキハ一時其者ヲシテ當市場ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ差止メ又ハ市場ヘ出入スルコトヲ謝絶スヘシ

第六十九條 同盟者及仲次人ニシテ本規約第二章第十二條同第十三條第三章第二十二條第十一章第六十八條ニ違背スル者アルトキハ總行事ハ同盟者總會ノ決議ヲ經テ金十圓以上百圓以下ノ違約金ヲ出サシメ且其事柄ニ依リテハ除名スルコトアルヘシ

第十二章 雜則

第七十條 毎年一月懇親會ヲ開キ同盟者相互ノ親睦ヲ厚フシ營業上必要ノ談話ヲ爲スヘシ

第七十一條 本規約第二章第六條ヨリ第二十一條ニ至ル各條項及第十一章第六十八條ハ常ニ市場内賭易キ所ニ揭示シ置クヘシ

第七十二條 同盟者總會ノ決議ヲ以テ此規約ヲ加除改正シタルトキハ必ラス農商務省ノ認可ヲ經テ實施スヘシ

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

第一條 當市場事務所ハ日曜日大祭祝日及年首三日年末三日ヲ除クノ外事務所ニ關スル一切ノ事務ヲ取扱フモノトス

但臨時休業ノ節ハ其時々揭示スヘシ

第二條 市場營業時間中ハ市場内ニ於テ圍碁將碁其他ノ遊戲ヲ爲スヘカラサル事

第三條 市場營業時間中ハ市場ノ門前ニ行人ヲ置クコトヲ禁スルモノトス

第四條 市場營業時間中ハ市場内外ニ於テ飲食ヲ爲シ又ハ市場内ニ於テ濫リニ横臥スル事ヲ禁スル事

第五條 第二條乃至第四條ニ違背シタルモノアルトキハ役員會ノ決議ニヨリ五日以内ノ濱止ヲ爲スヘキモノトス

但濱止ト稱スルハ市場ニ出入シ又ハ受渡立會ノ爲メ各濱ニ出入スルコトヲ止ムルモノトス

第六條 當市場同盟員會テ他ノ同盟員ノ雇人タリシ者ヲ雇入レント欲スルトキハ前雇主ノ承諾ヲ經ヘキモノトス

但前雇主ニ於テ承諾セサルモ其理由當然ナラスト認ムルトキハ總取締ノ承諾ヲ得テ雇入ル、コトヲ得

第七條 雇人不良ノ所爲アリテ解雇シタルトキハ其旨ヲ事務所ニ届出ツヘシ事實相違ナ

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

キニ於テハ總取締ヨリ之ヲ同盟員一般ニ通知スヘシ依テ同盟員ハ其者ヲ雇入ル、コトヲ得サルモノトス

第八條 當市場同盟員ハ市場同盟員會議其他ノ要件ニテ日時ヲ定メ出席スヘキ旨事務所ヨリ通告ヲ受ケタルトキハ必ス遅刻ナク出頭スヘシ

若シ謂レナク無斷缺席又ハ遅刻スルトキハ第十條ニ定メタル過怠金ヲ徵收スルモノトス

第九條 市場同盟員總會ニ出席スルハ必ス其本人並ニ役員ノ承認シタルモノニ限ルモノトス

但會社ハ正當其會社ヲ代表スヘキ役員又ハ支配人トシ支店出張店ハ其主任ニシテ豫メ店主ヨリ委任ノ條件ヲ附シ届出ヲ爲シタルモノニ限リ未成年者ハ後見人營業主婦女子ナルモノハ營業主任ヲ定メ豫メ届出タルモノニ限ル

第十條 市場同盟員總會時間ニ遅刻スルカ又ハ缺席スルトキハ左ノ過怠金ヲ徵收スルモノトス

- 一 定時間ヨリ三十分以上遅刻ノモノ 金五十錢
- 一 同一 上一時間以上遅刻ノモノ 金一圓
- 一 無届缺席ノモノ 金一圓五十錢

第十一條 總會ニ缺席スルコト續イテ三回ニ及フトキハ二日間無届缺席スルコト續イテ三回ニ及フトキハ三日間市場ニ立入ルコトヲ停止スルモノトス

第十二條 總テ會議開會中ニ於テ議長ノ許シヲ得スシテ退席スルモノハ相當ノ過怠金ヲ徵收スルモノトス

第十三條 取締會及委員會調査員會ハ必ス定時刻ニ出席スルモノトス若シ無届缺席スルコト三回以上ニ及フトキハ金一圓ノ過怠金ヲ徵收スルモノトス

但シ至急ヲ要スル事項ニシテ事ノ經キモノハ可成書面ヲ以テ回議ニ附スルモノトス

第十四條 總テ會議ノ通知ヲ受ケ病氣ノ爲メ缺席スルトキニ於テ醫師ノ診斷書ヲ添付シ届出ヲ爲シタルモノハ第十條第十一條及第十三條中ノ缺席ノ數ニ加算セサルモノトス

第十五條 總テ會議ノ通知ヲ受ケタルトキ事實他行シタルトキハ其店ニ於ケル代理人ヨリ其旨ヲ届出ツヘキモノトス

第十六條 當市場同盟員ハ同盟員一般ニ關スル利害ニ付意見アラハ何時ニテモ之ヲ總取締ニ陳述スルコトヲ得

第十七條 當市場事務所ニ投書函ヲ設ケ置クヘシ故ニ若シ市場全般又ハ同盟員ニ關スル事柄ニシテ公然陳告ヲ憚ル場合アルトキハ其事由ヲ詳記シ投入スルヲ得ヘシ總取締ハ其書面ニ依リテ事實ヲ取調ヘ相當ノ處置ヲ爲スコトアルヘシ

第十八條 市場規約第十三條同盟員賣買手數料ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一米 穀 代金額百分ノ一二
- 一肥料 同 百分ノ四、此内 (二分舊問屋、二分舊仲買)
- 一北海道四十物 同 百分ノ六、此内 (三分舊問屋、三分舊仲買)

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

一 朝鮮干鰯風袋明引 同 百分ノ五 此内 (二分五厘四厘
三分五厘仲買)

一 委托品大豆粕及種粕 同 百分ノ一、

其他ハ總テ舊慣ニ仍ル
藏入ノ荷物ニシテ其委托ヲ他ニ轉シタルトキハ米穀ハ前記手数料ノ半額ヲ肥料ハ總テ百分ノ一ト藏敷並ニ諸掛リトテ收受ス又取引所ノ受渡米ニ係ル分ハ前記ノ割合ヲ以テ收受シ其内ヨリ受渡ニ要スル費用ヲ支出スヘシ
米穀賣買代金受授ノ節ハ歩引トシテ金千圓ニ對シ七十五錢ノ割合ヲ以テ代金ノ内ヨリ引去ルヘシ

肥料取引ニ關スル歩引ハ同盟員ノ取引ハ二歩引トシ其他ハ何國ニヨラス一切歩引ヲ爲サス且ツ一定ノ諸掛リヲ收受スヘシ

但シ近江國ハ此限ニアラス

第十九條 市内當用口ノ米穀買方ニ限リ前條手数料ノ割合ニ準據スルヲ得サルトキハ買方ノ協議ヲ以テ其割合ヲ定メ總取締ニ申シ出ツヘシ總取締ハ委員會ノ議決ヲ經テ之カ許否ヲ定ムヘシ

第二十條 倉敷料仲仕賃解其ノ他ノ諸掛リハ豫テ協定セル別表ノ割合ヲ以テ實行シ自儘ニ増減セサルモノトス

第二十一條 同盟員相互ニ雇人ニ對シ商品ノ量目直合等合ミ合ヲ爲シ不法ノ金錢ヲ授受ルシタ者ハ役員會ニ於テ規約第七章違約ノ條項ニヨリ處分スルモノトス

第二十二條 前條合ミ合ヲ爲サシメサル爲メ同盟員ハ賣買ノ金額總テ手形小切手ヲ以テ授受スルモノトス若シ違背スル者ハ前條ニ同シ

但シ双方戸主直接ニ正金ヲ授受スル事ハ例外トス

第二十三條 同盟員中米穀ノ銘柄ヲ欺罔センカ爲メ故意ニ俵裝ヲ改造シ又ハ水氣ヲ含マスル等ノ所爲アリト認ムルトキハ役員會ニ於テ規約第七章違約ノ條項ニヨリ處分スルモノトス

但同盟員外ニ於テ同様ノ所爲アルモノト認ムルトキハ同盟員ハ其者ト取引ヲ爲サ、ルモノトス

第二十四條 同盟員受渡ニ使用スル櫛ハ毎年之レヲ検査シ一斗櫛ハ二ケ年ヲ以テ新調スルモノトス
第二十五條 藏入ノ商品ニ對シテハ其預リ主ヲ擱キ他ヨリ直組ヲ爲ス可カラサルモノトス

但預リ主ノ承諾ヲ得タルモノハ此限ニ非ス

第二十六條 各濱仲仕船等ニ於テ荷物ノ取扱ニ付組漏又ハ不正ノ廉アルコトヲ見聞シタルトキハ直ニ其事實ヲ總取締ニ報告スヘシ總取締ハ取締及委員ト共ニ其事實ヲ取調ヘ果シテ其所爲アリト認ムルトキハ嚴重ニ戒慎ヲ加ヘ猶ホ改メサルトキハ其取扱人ニ對シテハ同盟員一同爾後荷物ノ取扱ヲ爲サシメサルノ處置ヲ爲スヘシ

第二十七條 汽船銀行倉庫保險等當市場同盟員ノ營業ニ緊切ノ關係ヲ有スル諸會社ノ取

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

扱方ニシテ同盟員一般ノ便否ニ關スルモノアルトキハ總取締及委員ト協議ノ上
當市場ヲ代表シテ相當ノ交渉ヲ爲スコトアルヘシ

第二十八條 委員中ヨリ抽籤ヲ以テ二名ノ月番ヲ選定ス

月番ハ同盟員相互ノ取引ニ付紛議ノ起リタルトキハ先ツ其事實ヲ取調ヘ事ノ輕キハ月
番ノ合議ヲ以テ仲裁ヲ試ミ仲裁成レハ其旨ヲ總取締ニ報告スヘシ其仲裁ナラサルトキ
ハ直チニ委員會ヲ開キ其事實ヲ報告スヘシ
委員會ハ過半数ノ出席者アレハ之ヲ開キ仲裁案ヲ議定ノ上當事者一同ヲ出席セシメ其
理由ヲ説明シ公正ノ仲裁ヲ爲スヘシ而シテ仲裁成不成ノ始末ハ書面ヲ以テ直ニ總取締
ニ報告スヘシ

委員會ハ其互選ヲ以テ當日ノ座長ヲ舉クヘシ採決ハ議事法ニ據ルモノトス
仲裁ニ關シテ要セル費用ハ委員會ノ指定シタル方ヨリ辨出スヘシ

第二十九條 當市場同盟員十名ヲ以テ一部トシ部長ヲ置ク其職務左ノ如シ

但部長ノ選舉ハ其部中ニ於テシ其任期ハ滿二ケ年トス

- 一 常ニ市場ニ於ケル部員及其部員ノ使用人ノ行爲ニ注意シ不都合ノモノアリト認ム
ルトキハ其者ニ注意ヲ加ヘ尙ホ肯セサルトキハ其事由ヲ總取締ニ申告スヘシ
- 一 總取締ヨリ其部員ニ對シ通知スヘキ事項アルカ又ハ調査スヘキ事項アルトキハ總
取締ノ指揮ニヨリ速カニ其事ニ應スヘシ
- 一 年首年末ノ申合相場ハ調査員ト合議ノ上之ヲ定ム

第三十條 當市場事務員ニ濱係リヲ置キ日々各濱ニ於ケル受渡ノ正否仲仕人ノ荷物取扱
方及同盟員中濱止トナリタルモノ、出入等ヲ調査セシムルモノトス

第三十一條 市場役員ノ旅費日當割合ハ左ノ如シ

役員所員	總取締及取締	委員及書記長	書記
一日程旅費	四圓	三圓五十錢	二圓五十錢
滞在日當	三圓五十錢	三圓	二圓

第三十二條 陸路旅行ハ一日十里詰トス五里未滿ハ半額ヲ給シ五里以上ハ全額ヲ給ス滞
在日當ハ發程ノ日ヨリ歸所ノ日迄支給スヘシ又汽車汽船旅行ニハ給セス左ノ規定ニ依
リ實費ヲ支給ス

役員所員	總取締及取締	委員及書記長	書記
汽車	二等	二等	三等
汽船	上等	上等	中等

第三十三條 書記長以下ノ給料ハ毎月二十五日ヲ以テ渡シ日ト定メ任免黜陟等ハ其月十
五日前後ヲ以テ區別シ全額又ハ半額ヲ支給ス

第三十四條 一日以内ノ旅行ニハ實費又ハ見積リ額ヲ支給ス

第三十五條 當市場ノ印章及緊要ノ證書類ハ總取締之ヲ保管スルモノトス

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

- 第三十六條 總取締取締ノ互選ヲ以テ會計主任一名ヲ選定ス當選ノ取締ハ當市場ノ會計ヲ掌理スヘシ
- 第三十七條 當市場ノ取締ハ毎月少クトモ三回取締會ヲ開キ市場ニ關スル便否利害ヲ討究スヘキモノトス
- 第三十八條 同盟員ハ事務所ノ一部ヲ使用スル事ヲ得
- 第三十九條 當事務所ハ執務ニ差支ヘサル節ハ同盟員ノ紹介ニ依リ其一部ヲ限リテ他ノ公會等ニ貸渡スコトアルヘシ
- 第四十條 當市場同盟員ニ加盟セント欲スルモノハ規約第四十八條ニ依ルノ外同盟員中ニテ二名以上ノ紹介人ヲ要ス又同盟員ノ雇人タリシモノニシテ別立同業ヲ營ミ同盟員ニ加盟セント欲スルトキハ其舊雇主ノ連置若クハ同盟員二名以上ノ紹介人ヲ要ス
- 第四十一條 前條ノ紹介人ハ第四十三條ニ定メタル責任アルモノトス
- 第四十二條 前條舊雇主及紹介人ニ於テハ申請人カ左ノ各項ニ抵觸セサルコトヲ證明スヘシ
 - 第一 負債ノ義務ヲ終ヘサルモノ
 - 第二 破廉耻罪ヲ犯シタルモノ
 - 第三 不正不徳義ノ所業アリタルモノ
 - 第四 從來同盟員ニ對シ契約ノ履行ヲ怠タリタルコトアルモノ
- 第四十三條 前條舊雇主及紹介人カ證明シタル事項ニ付虛偽アリタルトキハ勿論尙加入

後二ケ年以内本人ニ於テ不正不徳義ノ所爲及同盟員ニ對シテ契約ノ履行ヲ怠リタルトキハ調査ノ上紹介人ニ對シ本市場規約第七章違約ノ條項ニヨリ處分スルモノトス

第四十四條 新タニ市場同盟員ニ加盟スルモノハ規定ノ信認及經費金ノ外市場地所建物資金トシテ金三百圓ヲ納入スルモノトス

第四十五條 前條ノ資金ハ市場同盟員ヲ退クトキハ金一百圓ヲ返戻スルモノトス

第四十六條 當市場同盟員ニ加時セント欲スルモノハ左ノ書式ニ準シ加盟申請書ヲ總取締ニ差出スヘシ

市場同盟員加盟申請書

本籍及營業所ノ位置

氏 名

年 齡

私儀是迄米穀肥料商業相營ミ居候ニ付今般貴市場同盟員ニ加盟致度最モ加盟ノ上ハ市場ノ規約其他ノ諸規則及慣例等確守可致ハ勿論苟モ同盟員中へ妨害トナルヘキ行爲ハ一切致間敷依テ紹介人ニ於テ左ノ各項ヲ證明仕候間加盟ノ義御許容被下度紹介人連署ヲ以テ此段申請候也

- 第一 負債ノ義務ヲ終ヘサルコト無之候事
- 第二 破廉耻罪ヲ犯シタルコト無之候事
- 第三 不正不徳義ノ所業アリタルコト無之候事

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

第四 從來同盟員ニ對シ契約ノ履行ヲ怠リタルコト無之候事

年 月 日

右	申請人	何	某	印
	紹介人	何	某	印
同		何	某	印

總取締氏名宛

前項ノ手續ヲ了シ加盟ヲ承認シタルトキハ總取締ハ其旨ヲ申請人ニ通知スヘシ
申請人ハ此通知ヲ受ケタル時ハ信認金及經費金ヲ指名ノ銀行ニ納入シ領收證ヲ事務所
ニ呈出シ信認金預リ證及經費金領收證ヲ受取ルヘシ若シ通知ヲ受ケタル日ヨリ三週間
内ニ於テ該手續ヲナサ、ルトキハ加盟承認ハ消滅シタルモノト見做スヘシ

第四十七條 總取締ニ於テ加盟申請ヲ受ケタルトキハ其人名ヲ一週間市場ニ揭示シタル
後之ヲ委員會ノ協議ニ附スヘシ依テ同盟員中若シ異議アルトキハ此期間内ニ其旨書面
ヲ以テ總取締ニ申出スヘシ

但異議ノ申出アリタルトキハ其次第ヲ委員會ヘ報告スヘシ
委員會ニ於テ加盟ヲ承認シタルトキハ總取締ハ其旨ヲ申請人ニ通知スヘシ但シ申請人
此通知ニ接シテヨリ三週間以内ニ規定ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ其申請ハ消滅シタルモ
ノト見做スヘシ

第四十八條 新タニ當市場同盟員ニ加盟スルモノ、經費徵集方ハ其加盟ノ上下兩季ニ依

リテ區別シ其全部若クハ半額ヲ徵集スヘシ其退除スルトキ亦此例ニ準ス

第四十九條 同盟員一時休業スルトキハ其旨總取締ニ届出ツヘシ其届出前季ナルトキハ
後季ヨリ經費ヲ賦課セス後季ナルトキハ翌年ヨリ之ヲ賦課セス再ヒ就業シタルトキハ
直チニ届出ヘシ此場合ニ於テ經費ノ徵集方ハ前條ノ例ニ依ルモノトス

第五十條 同盟員市場經費ノ徵收通知ニ接シ納附期日ヲ怠ルコト十日ニ及フトキハ事務
所ヨリ之レカ催告ヲ爲スヘシ若シ其催告ヲ受クルモ尙ホ納附セサルコト更ニ十日ニ及
フトキハ其人名ヲ市場ニ揭示シテ再ヒ催告ヲ爲スヘシ其以上延納スルトキハ之ヲ違約
處分ニ附スルコトアルヘシ

第五十一條 當市場同盟員ヲ退員セントスル時ハ其旨ヲ一週間市場ニ揭示シタル後總取
締之ヲ承認シ除名ノ場合ハ規約第六十一條ニ據ルモノトス

第五十二條 當市場同盟員ニハ同盟員タル證憑トシテ一定ノ掲標ヲ付與スヘシ

第五十三條 委托物件ノ荷爲替金ハ立替金共時價ノ八掛ヨリ以上ノモノハ一切謝絶スル
モノトス

第五十四條 爲替切レ其他取引上同盟員中へ損害ヲ被ラシタル取引先アルトキハ其姓名
ヲ事務所へ届出ツヘシ事務所ハ調査ノ上之ヲ市場ニ揭示シ其事情ノ尤モ惡ムヘキモノ
ハ新聞紙上ニ掲クヘシ

第五十五條 前條ニヨリ揭示ヲ爲シタル後該取引先ニ對シテ同盟員ハ一切取引ヲ拒絶ス
ヘシ若シ之レニ反シ取引ヲ爲シタルモノアルトキハ違約處分ニ附スルモノトス

兵庫米穀肥料市場同盟員申合規則

第五十六條 此申合規則ハ同盟員總會ノ決議ニヨリテ之レヲ更正加除スルコトヲ得
右申合規則ハ當市場同盟員一同ノ協議ヲ以テ決定シタルコトヲ證スル爲メ各自記名調印ス
後日新タニ加入スル者ハ順次署名捺印セシムヘキモノ也

明治三十五年十二月一日

兵庫米穀肥料市場同盟員一同連署

兵庫米穀肥料市場規約

第一章 總 則

第一條 當市場ハ神戸市内ニ於ケル米穀及肥料商人ノ同盟員ヲ以テ組織ス
第二條 當市場ノ名稱ハ兵庫米穀肥料市場ト稱シ市場及事務所ヲ神戸市宮前町二十九番
屋敷ニ設置ス

第二章 目的及方法

第三條 當市場ハ同盟員ニ於テ米雜穀及肥料ノ賣買取引ヲ爲スモノトス
第四條 當市場ハ米穀肥料ノ賣買ヲ正確ニシ取引上ノ弊害ヲ矯正シ一切ノ取引ヲシテ圓
滑ナラシメ以テ其ノ革進利達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第五條 當市場ノ營業時間ハ左ノ如シ

- 一 一月ヨリ六月マテ 午前十時ヨリ午後二時マテ
- 一 七月ヨリ九月マテ 午前八時ヨリ正午十二時マテ
- 一 十月ヨリ十二月マテ 午前十時ヨリ午後二時マテ

但シ休業ハ年首三日年末三日及大祭祝日トシ臨時休業ヲ爲ストキハ其旨市場ニ掲
示スヘシ

總則 目的及方法

目的及方法

第六條 賣買契約ハ總テ見本ヲ以テ之レヲ定ムヘシ

但シ見本ノ取寄セ難キ場合ハ參考品ニ據リ又ハ品位銘柄ヲ定メテ契約ヲ爲スコトヲ得

第七條 當市場ニ於テ直賣買及延賣買ヲ爲シタルトキハ即時其品名數量價格受渡期日等ヲ賣買者双方ヨリ申出市場ノ帳簿ニ記入ヲ乞フヘシ又自宅賣買ニ係ルモノハ翌日開市迄ニ届出ツヘシ

第八條 直賣買及延賣買受渡シ期限ハ左ノ如シ

一 直賣買ノ受渡ハ水揚物及汽車積物ハ賣買直組ノ當日ヨリ三日以内藏入物ハ其當日ヨリ五日以内トシ延賣買ハ其約定期日トシ何レモ午前ヨリ受渡ニ着手スルモノトス尤モ非常ノ事變又ハ天災ノ爲メ受渡シヲ爲シ能ハサルトキハ此限リニアラス但不得止事故アリテ賣買双方合意ヲ以テ延期スル場合ハ其旨市場ニ届出延期スルコトヲ得ルト雖トモ其日限ハ二日以上ニ涉ルコトヲ許サ、ルモノトス

二 前項ノ規定ニ違背スルトキハ委員會ノ決議ヲ以テ違約處分ニ附スルモノトス

第九條 受渡シノ量器ハ米穀ハ櫛蓋斗斛ヲ以テシ其一斗以下ノモノハ五升斛及一升斛ヲ以テシ肥料ハ臺衡ヲ以テ爲スモノトス

第十條 委托物品ハ荷主ノ指定ニヨリ處置スルモノトス

但左ノ場合ニ於テハ荷主ノ指定ヲ待タスシテ處置スルコトアルヘシ
一 滯澤手變質或ハ變質セントスルカ又ハ變質物ノ爲メ其害ヲ受ケントスルモ豫防ノ

方法ナキ時

一 諸掛リ立替金其他荷爲替貸金及其利子等ノ返金ヲ怠リタルトキ

一 荷爲換附ノ荷物ニシテ其時價ニヨリ爲換金ニ不足ヲ生シ其差金ノ請求ニ應セサル時

第十一條 委托者ニシテ同盟員中ニ取引上ノ負債ヲ生シ其義務ヲ果サ、ルモノアルトキハ總取締ニ其旨ヲ申出ツヘシ總取締ハ其事實ヲ調査シタル上同盟者ニ通知スヘシ依テ同盟員ハ其者ト取引ヲ爲サ、ルモノトス

第十二條 委托者ノ取引上ニ於テ其權利義務ニ關スル事項ハ豫メ之レヲ委托者ニ通知シ置クヘキモノトス

第十三條 委托ニ係ル賣買手数料ハ別ニ規定セル割合ニ從ツテ收受シ決シテ區々ニ涉ルコトヲ得ス

第十四條 同盟員ノ賣買取引ニ對シテハ當市場ハ手数料ヲ徴收セサルモノトス

第十五條 同盟員ニシテ賣買契約期日ニ至リ受渡ヲ爲サス或ハ代金ノ支拂ヲ怠リ其他取引上無故澁滯ヨリ損害ヲ蒙ラシメタルトキハ其被害者ヨリ事實ヲ詳記シ總取締ニ届出ツヘシ此場合ニ於テハ其事實ヲ調査シ相違ナキトキハ其旨ヲ市場ニ揭示シ事ノ落着迄ハ加害者ト取引ヲ爲スヘカラサルモノトス

第十六條 同盟員賣買取引ニ關シ紛議ヲ生シタルトキハ總取締ニ申出ツヘシ此場合ニ於テハ總取締ハ委員會ニ托シ仲裁調停ヲ謀ルモノトス

目的及方法

目的及方法

第十七條 市場ノ賣買取引ニ關シ代理人ヲ用ユルトキハ其氏名年齢ヲ記シ總取締ノ承認ヲ受クヘシ總取締ハ其人名ヲ市場ニ揭示スヘシ

第十八條 同盟員ノ賣買取引ニ關シ家族及雇人ノ爲シタル行爲ハ總テ本人其責ニ任スルモノトス

第十九條 賣買取引ニ關シテハ本條規定ニ據ルノ外同盟員ノ協定セル諸規定ハ總テ遵守スルモノトス

第二十條 同盟員中諸規則ニ違反ノモノアルコトヲ認メタルトキハ其旨ヲ總取締ニ申告スヘシ總取締ハ事實ヲ調査シ第七章違約處分ノ條項ニヨリ處分スルモノトス

第二十一條 當市場ハ左ノ事項ヲ調査ス

- 一 營業上必要ナル調査
- 一 市場價格ノ高低
- 一 物貨ノ集散
- 一 販路ノ伸縮
- 一 賣買取引ノ方法
- 一 輸出入ノ増減
- 一 勞銀ノ高低
- 一 米作ノ狀況
- 一 諸稅賦課ノ適否

- 一 海陸運輸ノ便否
- 其他必要ナル事項

第三章 役員選舉及權限

第二十二條 當市場ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 總取締 一名
- 一 取締 三名
- 一 委員 八名
- 一 調査員 十名

第二十三條 役員ハ總テ總會ニ於テ同盟者中ノ投票ヲ以テ選舉シ得票多數ナル者ヲ以テ當選者トス若シ同數ナルトキハ年長者ヲ採リ同年ナルトキハ抽籤ヲ以テシ總取締ハ取締ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

但シ當選者ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十四條 左ノ各項ニ觸ル、モノハ役員タルコトヲ得ス

- 一 破廉耻罪ヲ犯シ處罰セラレタル者
- 一 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ停止中ノ者
- 一 復權セサル破産者及家資分散ノ者

第二十五條 役員ハ總テ名譽職トシ無給タルヘシ

役員選舉及權限

役員選舉及權限

但時宜ニヨリ相當ノ報酬ヲ爲スコトアルヘシ

第二十六條 總取締ハ取締ノ協議ヲ以テ書記若干名ヲ置キ諸般ノ事務ヲ取扱ハシム

但業務上必要ニ應シ顧問員ヲ置クコトアルヘシ

第二十七條 總取締及取締ノ任期ハ滿二ケ年トシ選舉期年ノ定時總會ニ於テ改選ス若シ
缺員ヲ生シタルトキハ臨時總會ヲ開キ補缺選舉ヲ爲スヘシ

但補缺員當選者ハ前任者ノ殘期ヲ繼クヘキモノトス

第二十八條 委員及調査員ノ任期ヲ滿二ケ年トシ毎年ノ定時總會ニ於テ其半數ヲ改選ス
ルモノトス

第二十九條 總テ役員ハ再選セラル、モ妨ケナシ

第三十條 總取締ハ取締ト協議ノ上諸般ノ事務ヲ統理ス其要目左ノ如シ

一 會議ニ議案ヲ發シ及議決ノ事項ヲ執行スル事

一 同盟員ノ出入ヲ監理スル事

一 違約者アルトキハ之レヲ委員會ニ附シ其決議ニ依リ處分スル事

但シ總取締ニ於テ異議アルトキハ再議ニ附スルコトヲ得ヘシ

一 同盟員ノ紛議ヲ委員會ニ謀リ仲裁スル事

一 取渡ト協議ノ上書記長以下ノ進退ヲ爲ス事

一 經費其他ノ決算報告ノ事

第三十一條 取締ハ總取締ヲ補佐シ總取締事故アルトキハ年長順ニ依リ代理ノ任ニ當ル

第三十二條 取締ハ總取締ト協議ノ上庶務會計ノ事ヲ分掌ス

第三十三條 委員ハ委員會ニ從事スルノ外豫テ同盟員間ニ起ル取引上ノ紛議ヲ調停仲裁

シ又ハ總取締ヨリ臨時囑托ノ事件ヲ處理ス

第三十四條 委員ハ常ニ總取締取締ノ行爲ニ注意シ若シ失當ノ廉アルトキハ之レヲ忠告

シ事ノ重キハ臨時總會ヲ召集シ其議決ニ付スヘシ

第三十五條 委員會ハ總取締ノ要求ニ依リ又ハ必要ノ都度之ヲ開キ左ノ事項ヲ議定シ其

始末ヲ總取締ニ報告スルモノトス

一 同盟員ノ取締ニ關スル事及營業上ニ關スル利害ノ審議

一 同盟員ノ間ニ起レル紛議ノ仲裁

一 違約者ノ處分方

一 經費支出ノ監査

一 總取締ヨリ諮問ノ件

第三十六條 調査員ノ職務ハ左ノ如シ

一 同盟員使用ノ量器ヲ檢査スルコト

一 總取締ノ指令ニ依リ取引紛議ノ際及ヒ其他ノ場合ニ於テ品質等ノ監査ヲ爲ス事

一 兵庫港ニ於ケル米穀ノ出入及現在ヲ調査スルコト

第四章 總會

總會

總會

第三十七條 總會ヲ分テ定時臨時ノ二種トス

第三十八條 定時總會ヲ更ニ豫算會及決算會ノ二種ニ分テ豫算會ハ毎年十二月決算會ハ毎年一月總取締之ヲ招集シ豫算會ニ於テハ後期ノ經費ヲ議定シ決算會ニ於テハ前期ノ決算及財産目錄同盟員ノ出入其他事務ノ要領ヲ報告スルモノトス

第三十九條 臨時總會ハ總取締若シクハ委員會ノ評決ニ依リテ必要ト認ムルトキハ之ヲ招集ス又同盟員三分ノ一以上ヨリ目的ヲ示シテ開會ノ請求アリタルトキハ總取締ハ十五日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第四十條 定時總會ハ七日前ニ臨時總會ハ三日前ニ其事項若クハ議案ヲ添エテ總取締ヨリ開會通知書ヲ發スヘシ
但シ急議ヲ要スルトキハ此限リニアラス

第四十一條 總會ノ議長ハ總取締之ニ任ス總取締事故アルトキハ取締之ニ代リ取締差支アルトキハ出席員中互選ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 議事ハ出席員過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ據ル

但市場規約ノ改正加除ニ關スルトキハ第六十七條ノ規定ニ據ル
第四十三條 總會ハ同盟員三分ノ一以上出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

但至急ヲ要スル場合ハ出席者ニ於テ假決議ヲ爲シ缺席者ヘハ書面ヲ以テ賛否ヲ求メ過半數ニヨリ本決議トナスコトヲ得

第四十四條 會議ニ於テハ其日時場所出席人名及議事ノ顛末ヲ記載シ他日ノ考證ニ供シ且ツ決議ノ事項ハ決議録ニ登記シテ議長及出席員三名以上之レニ署名捺印スヘシ

第四十五條 總會ニ事故アリテ代理人ヲ出席セシメント欲スルトキハ豫メ届出總取締ノ承認ヲ受クルモノトス
但代理人ハ相當代理ノ資格ヲ有スル丁年以上ノモノ一名ニ限ルモノトス

第四十六條 會議ニ於テ其自己一身ニ關スル議事ニハ參加スルヲ得サルモノトス

第四十七條 總會ノ決議ハ之ヲ遵守スルノ義務アルモノトス若シ決議ニ背反セシ行動アルトキハ規約第七章ノ規定ニヨリ處分スルモノトス

第五章 加盟者及退除者

第四十八條 當市場同盟員ニ加盟セント欲スルモノハ當市内ニ現住シ一ケ年以上米穀肥料ノ賣買ニ從事シタルノ證ヲ備ヘ其住所族籍姓名等ヲ書面ニ認メ事務所ニ差出スヘシ
總取締ハ之ヲ委員會ニ附シ決議ヲ經テ其加盟ヲ諾シ規約其他ノ諸規定ニ署名捺印セシメ又同時ニ規定ノ信認金ヲ納メシムヘシ

第四十九條 同盟員ニシテ代換リ又ハ地區内ノ轉居改姓名等ノ節ハ直ニ總取締ニ届出ツヘシ又廢業或ハ地區外ヘ移轉スルトキハ書面ヲ以テ總取締ニ申出其承認ヲ受クヘシ

第五十條 當市場同盟員ニシテ休業スルコト一箇年ニ涉リ市場經費ヲ納入セサルモノハ同盟員タルノ資格ヲ失フモノトス

加盟者及退除者

信認金及經費

第五十一條 同盟員ノ出入移動ハ總テ總取締ヨリ其都度同盟員一般へ通告スヘシ

第六章 信認金及經費

第五十二條 當市場同盟員ハ信認ヲ保持センカ爲メ信認金トシテ一人ニ付金三百圓ヲ出金セシムルモノトス

第五十三條 信認金ハ確實ナル方法ヲ以テ保管シ是ヨリ生スル利金ハ收入部ニ算入シ市場ノ經費ニ充ツルモノトス

第五十四條 違約金ノ處分ヲ受ケ之ニ應セスシテ出金ヲ怠リタルトキハ其信認金ヲ以テ控除スルコトアルヘシ

但本條ノ爲メ信認金ニ缺額ヲ生シタル分ハ五日以内ニ之ヲ補充セシム

第五十五條 債權其他ノ爲メ裁判所ヨリ信認金差押ノ命令アリタルトキハ即時其金額ヲ補充セシムルモノトス若シ補充ヲ怠リタルトキハ市場ノ賣買ヲ停止スルモノトス

第五十六條 同盟員ヲ退除シタルトキハ信認金ヲ返付スルモノトス

第五十七條 當市場ノ經費ハ豫算ニ基キ總テ同盟員ニ割當テ六ヶ月毎ニ之ヲ徵收スルモノトス

第五十八條 違約金トシテ徵收シタル金員ハ總テ當市場ノ經費ニ充ツヘシ

第五十九條 當市場ノ會計年度ハ毎年一月ニ始リ十二月ニ終ル其季末ニ於テ經費ノ收支決算ヲ爲スモノトス

第七章 違約者處分

第六十條 同盟員ニシテ此規約及他ノ諸規定ニ違反シ又ハ自己一身ノ爲メ同盟員一同ニ不利ヲ來タス等ノ行爲アルトキハ直ニ委員會ヲ開キ其事實ヲ調査審議シ其輕重ニ因リ左ノ範圍内ニ於テ之ヲ處分ス

一 忠告

輕 一圓以上百圓未滿

二 違約金

重 百圓以上三百圓迄

三 取引拒絶

三ヶ月以内

四 除名

第六十一條 第六十條ノ處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ其住所姓名及違約ノ理由ヲ同盟員一同へ通告シ尙ホ新聞紙ヲ以テ世上ニ廣告スルコトアルヘシ

第六十二條 同盟員間ニ生シタル紛議ノ仲裁ヲ請求シ之カ仲裁々斷ヲ受ケタルトキハ之ニ服従スルノ義務アルモノトス若シ違反ノ行動アルトキハ本規約第六十條ニ據リ處分スルモノトス

第六十三條 違約者ノ爲ニ要スル費用ハ總テ違約本人ノ負擔タルヘシ

第八章 雜則

違約者處分 雜則

雜則

第六十四條 當市場及事務所ノ印章並ニ徽章ハ左ノ如シ

兵庫米	穀肥料	市場印
-----	-----	-----

兵庫米穀	肥料市場	事務所印
------	------	------

徽章



第六十五條 當市場同盟員ノ賣買高及平均相場ハ毎月二回主務省ニ報告スルモノトス

第六十六條 當市場ノ事務ノ要項同盟員ノ増減等ハ一ケ年分ヲ翌年一月中主務省ニ報告スヘシ

スヘシ

第六十七條 此規約ハ同盟員總會ニ於テ出席者四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ改正加除スルヲ得ヘシト雖モ必ス主務省ノ認可ヲ得テ實施スルモノトス

以上

前條々確守スル證左トシテ同盟員各自記名調印スルモノ也

明治三十五年十月一日

兵庫米穀肥料市場

明治四十一年六月廿七日印刷

明治四十一年七月一日發行

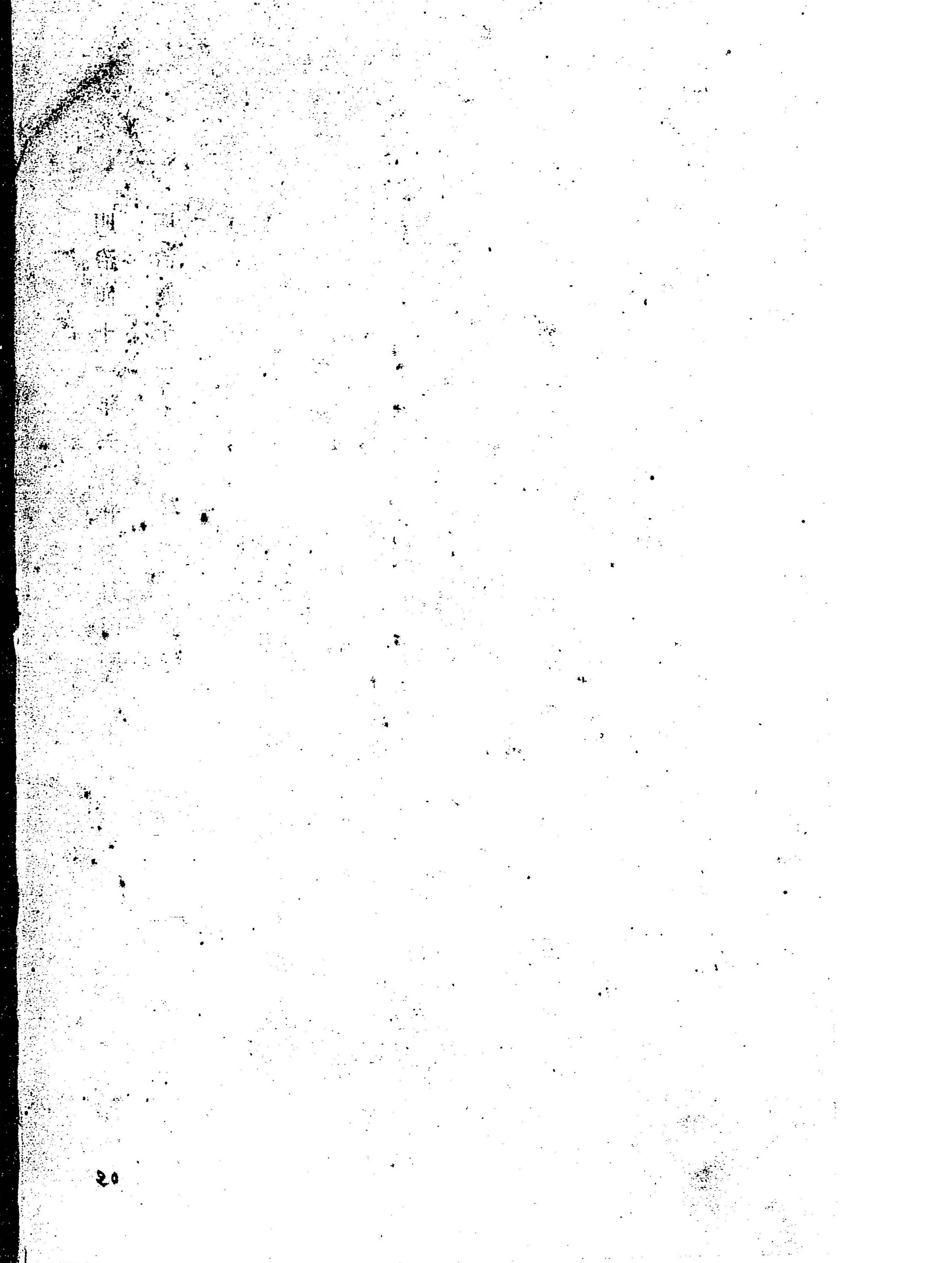
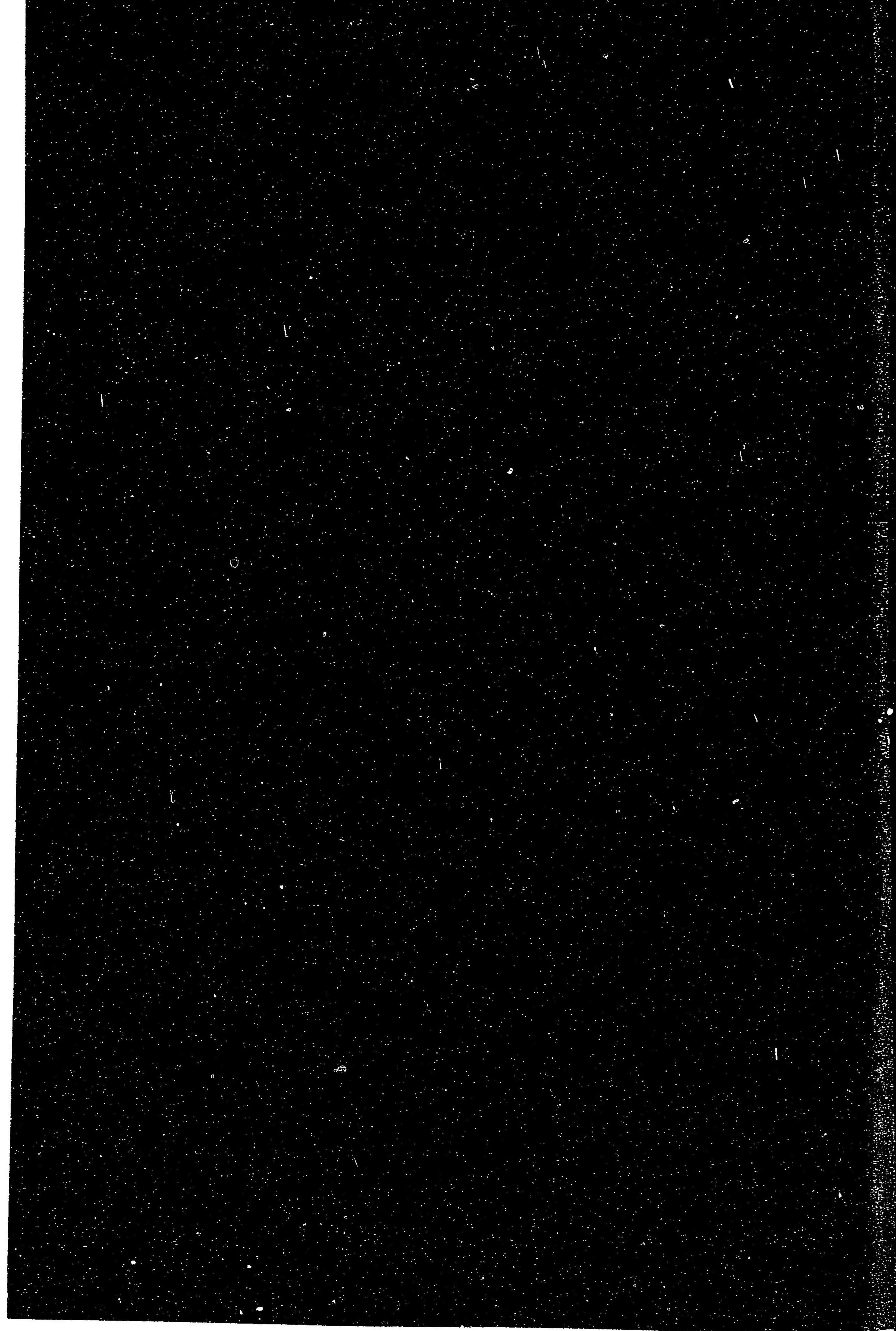
臺灣總督府民政部殖產局

臺北廳臺北々門街二丁目九番戶

印刷人 上田榮太郎

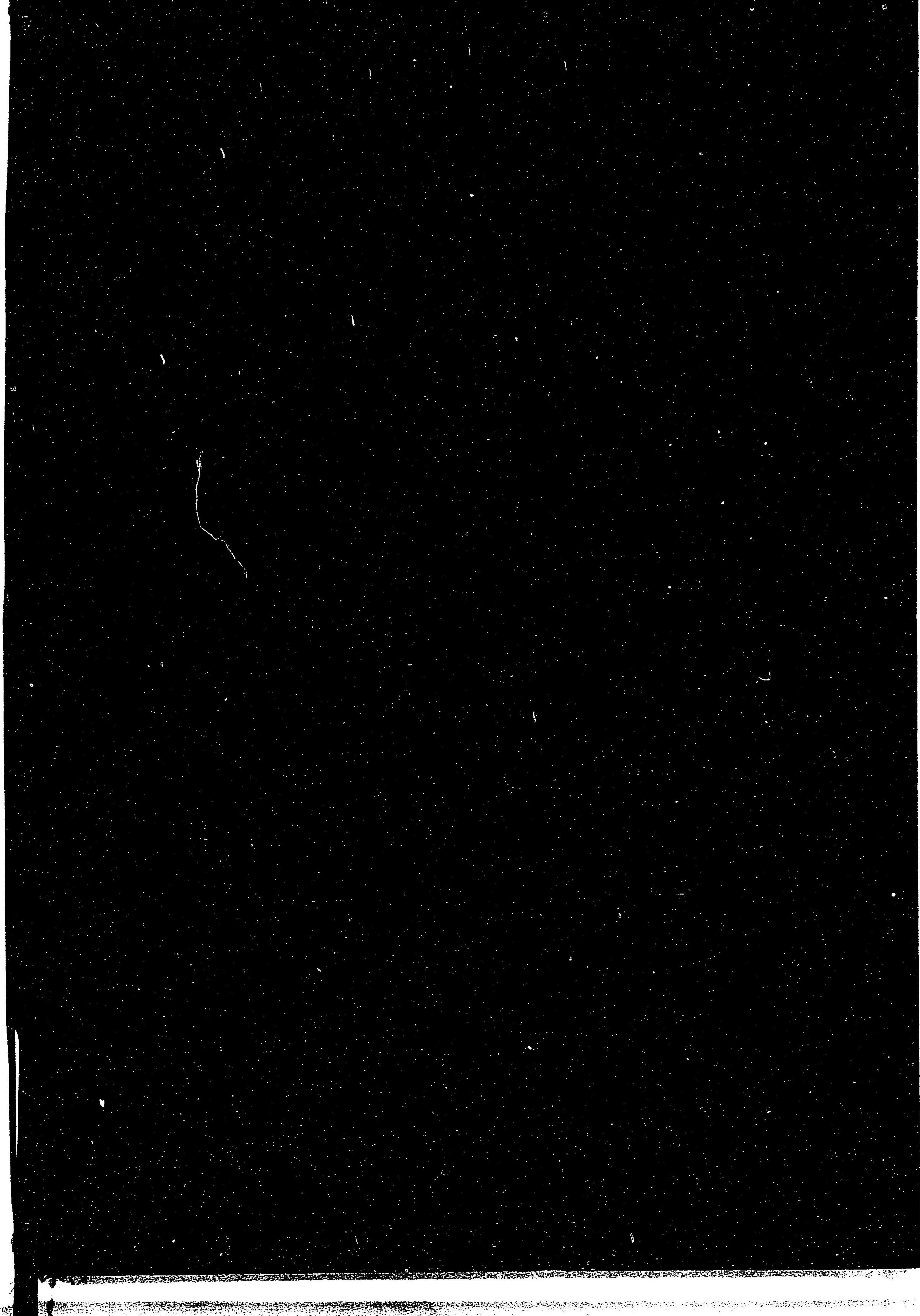
臺北廳臺北々門街二丁目九番戶

印刷所 臺北活版社



20





321
57

M

044037-000-5

321-57

取引所視察一班

台灣總督府民政部殖產局

M41

BDM-0160

